

景気動向調査

製造業・小売業、仕入難続き、人手不足感強まる

令和5年1～3月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

令和5年1～3月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率63.0%

【主要な表現について】

○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○DI値：(増加・好転と回答した割合)－(減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：全産業での業況は、DI値▲10.4で前回(2022年10月～12月)より13.2ポイント改善。

建設業前回▲20.8ポイントから今回7.7ポイントと改善傾向を示しました。

全産業売上高の推移：前回▲12.4ポイント(2022年10月～12月)から10.8ポイント改善しました。

建設業前回▲39.1ポイントから今回4.0ポイントで改善傾向を示しました。

全産業資金繰りの動向：前回▲13.5ポイント(2022年10月～12月)から3.8ポイント改善しました。

全産業足踏み状態を示しました。

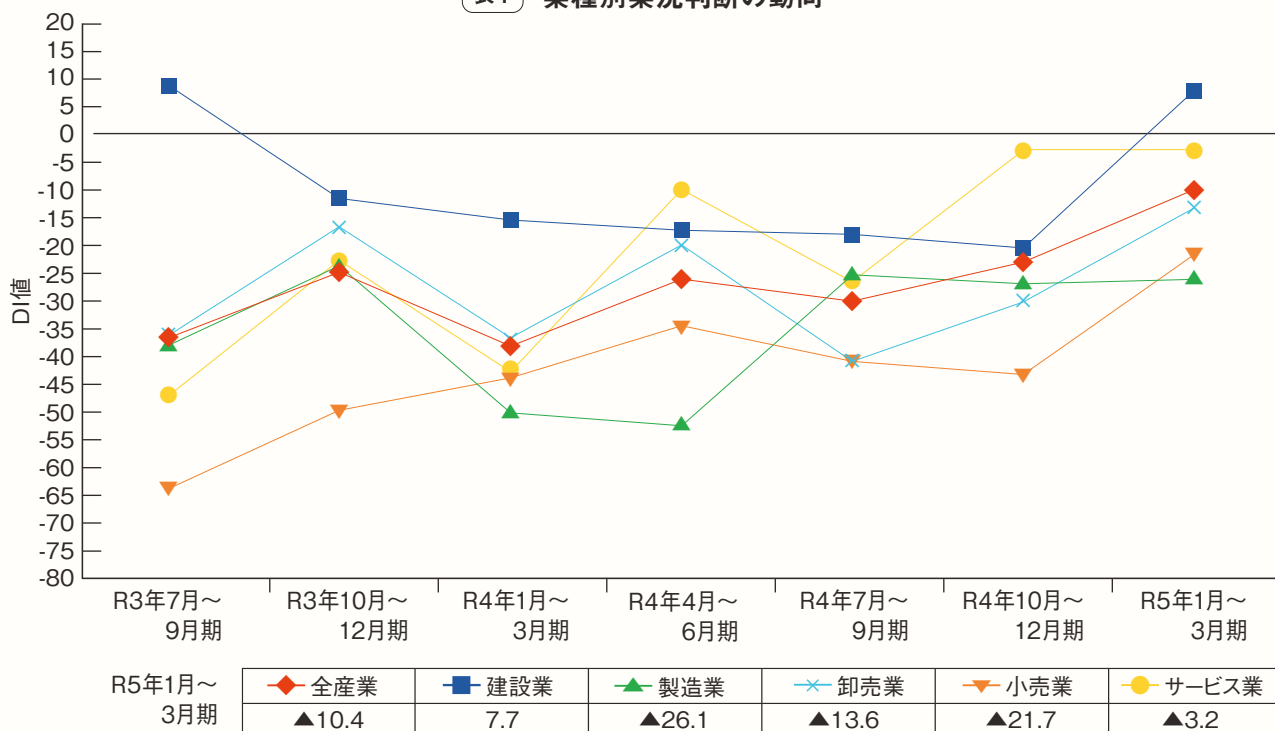
全産業採算の動向：前回▲36.4ポイント(2022年10月～12月)から14.8ポイント改善しました。

建設業・小売業・卸売業において改善傾向を示し、マイナス幅が縮小しました。

全産業雇用人員の動向：前回0.8ポイント(2022年10月～12月)から5.0ポイント悪化しました。

製造業・小売業で人手不足感が強まりました。

表1 業種別業況判断の動向



問合せ先 藤枝商工会議所 経営支援課 TEL: 054-641-2000